

障がい者支援施設 阿南学園 竣工

令和3年12月



障がい者支援施設 阿南学園

一人ひとりが
主人公



ごあいさつ

障がい者支援施設阿南学園は、昭和33年に精神薄弱児施設阿南学園として北條中谷地籍にて開設され、昭和53年に現在の北條川田地籍に移転新築しました。建設から43年が経過して施設の老朽化が進み、利用者の皆様、職員の皆様にご不便をおかけして参りましたが、このたび、新しい施設が同じ北條川田地区内に移転新築いたしました。新阿南学園は、入所定員を80名から60名にし、短期入所定員2名を合わせた障がい者支援施設として開所いたします。

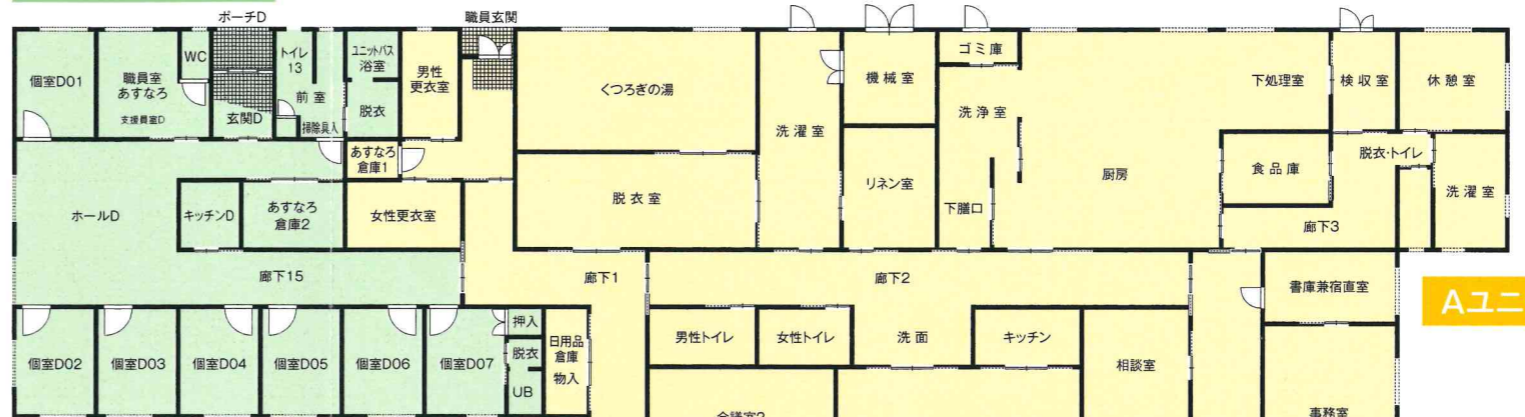
新阿南学園の建設につきましては、平成27年から検討を始め、令和2年8月から建設工事に着手し総額約9億6,000万円を投じ、令和3年11月末に完成しました。完全個室ユニットの整備を図り利用者一人ひとりのプライバシーを尊重しながらも、町内産材の檜を利用した羽目板を使用し、家庭的で安全安心な生活を送っていただける施設となります。

ここに、多くの関係者の皆様に心から感謝申し上げますとともに、今後も新阿南学園が多くの皆様に愛され、阿南町はもとより南信州地域の障がい者福祉サービスの拠点となることをご祈念申し上げ、竣工のごあいさついたします。

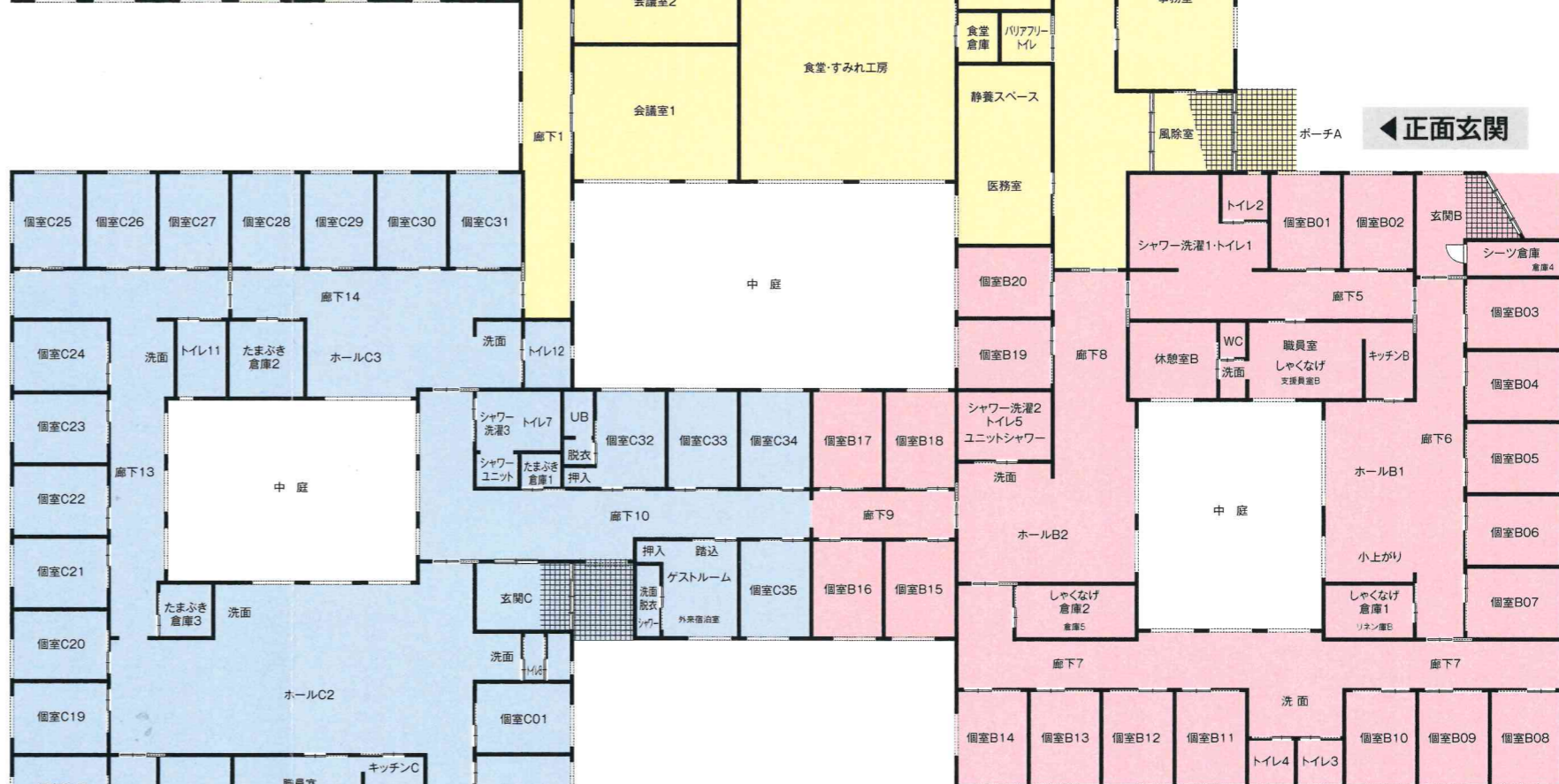
令和3年12月吉日

阿南町長 勝野 一成

Dユニット 7名



Aユニット(管理・共用)



Bユニット 22名

※うちショートステイ1名



Cユニット 33名

※うちショートステイ1名



食堂・すみれ工房

厨房

くつろぎの湯

■建物の概要

- ・施設名 障がい者支援施設 阿南学園
- ・所在 阿南町北條726番地
- ・設置者 阿南町
- ・指定管理者 社会福祉法人ひだまりの郷あなん
- ・構造 鉄骨造平屋建
敷地面積：7,408.99㎡
(駐車場敷地含む)
延床面積：2,543.54㎡
定員60名 他ショートステイ2名
- ・竣工日 令和3年11月30日
- ・開所日 令和3年12月17日

■建設工事費

・建築・造成・外構工事	561,000,000円
・電気設備工事	121,000,000円
・機械設備工事	193,600,000円
・敷地造成工事	12,639,000円
・設計監理(本体工事)	21,802,600円
・敷地造成設計	1,123,200円
・用地取得費	21,896,550円
・備品購入	4,675,000円
・調査・道路改良・負担金 他	20,801,650円
計	958,538,000円

(財源内訳)

・施設整備事業債(一般財源化分)	422,200,000円
・過疎対策事業債	509,000,000円
・一般財源	27,338,000円

■設計・施工

設計・監理	飯田市小伝馬町1丁目33番地 飯田市川路7527番地	白子建築設計事務所(本体) (株)小林コンサルタント(造成)
施 工	飯田市松尾町2丁目25番地 飯田市常盤町25番地 飯田市今宮町2丁目34番地 阿南町東條118番地3	吉川建設(株)(建築・造成・外構工事) 東陽興業(株)(電気設備工事) (株)シノダ設備(機械設備工事) (株)サンテクト(敷地造成工事)

阿南学園の歴史

- 昭和32年 10月 飯田市と下伊那郡全町村により一部事務組合「阿南学園組合」設立
- 昭和33年 5月 精神薄弱児施設「阿南学園」が阿南町北條中谷地籍にて開所 定員50名
- 昭和53年 4月 阿南町北條川田(神子谷)地籍に移転新築 定員70名
- 平成元年 4月 重度棟創設 定員90名
- 平成6年 4月 「阿南学園組合」を解散し「飯伊広域行政組合」発足
- 平成10年 4月 「飯伊広域行政組合」から「南信州広域連合」に移行
- 平成18年 4月 阿南学園民営化検討委員会開催
- 平成23年 3月 「社会福祉法人ひだまりの郷あなん」設立
4月 「社会福祉法人ひだまりの郷あなん」を指定管理者とする運営開始
- 平成27年 から 新施設の移転新築の検討が始まる
- 平成29年 12月 当初の建設候補地を断念し、新候補地の検討が始まる
- 平成30年 12月 「南信州広域連合」と「阿南町」で「障害者支援施設阿南学園の新施設建築整備事業に関する覚書」の締結
阿南町が事業主体となる
- 令和元年 6月 南信州広域連合が保有する「阿南学園施設整備基金」全額を阿南町に移管
- 令和2年 8月 工事着手
- 令和3年 3月 敷地造成工事完成
- 令和3年 11月 本体工事完成
- 令和3年 12月 阿南町北條川田(北川)地籍に開所

